

住民説明会による意見聴取

御坊市

- ・開催日時: 令和7年7月 9日 14時～
- ・開催場所: 御坊商工会議所



美浜町

- ・開催日時: 令和7年7月10日 14時～
- ・開催場所: 美浜町地域福祉センター



住民説明会の意見と回答

(下線部は本文修正内容)

	計画に関する意見の概要	回答案
1	西川と東裏川との合流点に、設置している県の排水ポンプについて、内水対策として稼働できれば、浸水被害の軽減につながるのではないかと。	東裏川排水用ポンプについては、東裏川より西川の水位が高い時に千貫樋門を閉めた上でポンプを稼働させることとしていますが、西川の水位が一定の値を超える場合には、西川合流箇所付近の浸水リスクを考慮しポンプを停止する運用規定となっております。現状では、大雨の際、東裏川と同様に西川の水位も上がっているため、ポンプを稼働させる機会が少なくなっています。 今後、西川本川における河道掘削などの進捗状況を踏まえ、より効果的な排水ポンプの稼働ができないか、必要に応じて運用規定の見直しを検討してまいります。
2	東裏川流域において、浸水被害が頻発しているため河川整備を早く進めてほしい。	東裏川流域における内水被害への対応については、今後策定する本計画に基づき、西川本川の河床を掘り下げること、東裏川の水位低下に寄与する河川整備を推進してまいります。 また、河川整備の完成には一定の時間を要することから、並行して田んぼダムやため池の低水位管理といった対策も含め、流域の様々な関係者との協働により浸水被害軽減に取り組んでまいります。
3	日高川町土生地内の未利用地に雨水貯留施設を作ること、下流域の浸水被害の軽減を図ることはできないか。	浸水被害の軽減に有効な手段と考えており、今後の西川流域における流域治水の取組の参考にさせていただきます。
4	西川の河川整備について、入山地区で河道拡幅を検討してほしい。	日高川水系河川整備計画では、西川の入山地区で河道拡幅を位置づけており、下流から順次整備を進めているところです。 また、河川整備の完成には一定の時間を要することから、並行して田んぼダムやため池の低水位管理といった対策も含め、流域の様々な関係者との協働により浸水被害軽減に取り組んでまいります。
5	和田川との合流点に美浜町が排水施設を整備するとのことだが、なぜ美浜町が整備するのか。	西川河川整備の状況等を踏まえると、美浜町が整備する方が早期完成が見込めること、計画に位置付けることで国や県の財政支援を得られることから、美浜町で整備することとしました。
6	計画の目標となる降雨量が、1/10規模(97mm/2h)としているが安全になるのか。	本計画では、日高川水系河川整備計画や県内河川の治水安全度のバランスを考慮して年超過確率1/10規模の降雨を目標としています。 しかしながら近年は気候変動の影響により、水災害が激甚化、頻発化していることから、計画対象降雨以外の想定し得るあらゆる洪水が発生することも可能な限り想定し、地形条件等により水位が上昇しやすい区間や氾濫した場合に特に被害が大きい区間等における氾濫の被害をできるだけ抑制する対策等を検討してまいります。